

第76回 全身がん検診（DWIBS ドゥイブス検診） 受けてみませんか？

日野病院 病院長 孝田 雅彦



日野病院の孝田雅彦病院長が、さまざまな病気や健康について、その予防法や健康に過ごすための豆知識などお役立ち情報をお届けします。

一回でがんチェック可能な DWIBS検診

「DWIBS? 聞いたことない、初めて聞いた」といわれる方がほとんどかと思えます。医師でも知らない方が大部分です。しかし、最近DWIBSを用いて診療している医師の間では、その有効性がとても高く評価されてきています。私もその1人です。

DWIBSとはMRIの撮影法の一つで、頭から足まで一回でがんのチェックができる方法です。PETも同じく全身がん検診に用いられる検査でよく知られています。DWIBSはPETとほぼ同等あるいはそれ以上の診断能のある検査

法です。PETは1回の検査が10万円から15万円かかりますが、DWIBS検診は当院では2万円と極めて安価です。

また、PETと異なり、放射線の被曝はありません。体にも優しいのです。現在、DWIBS検診は鳥取県では当院だけです。都市部では徐々に普及しています。

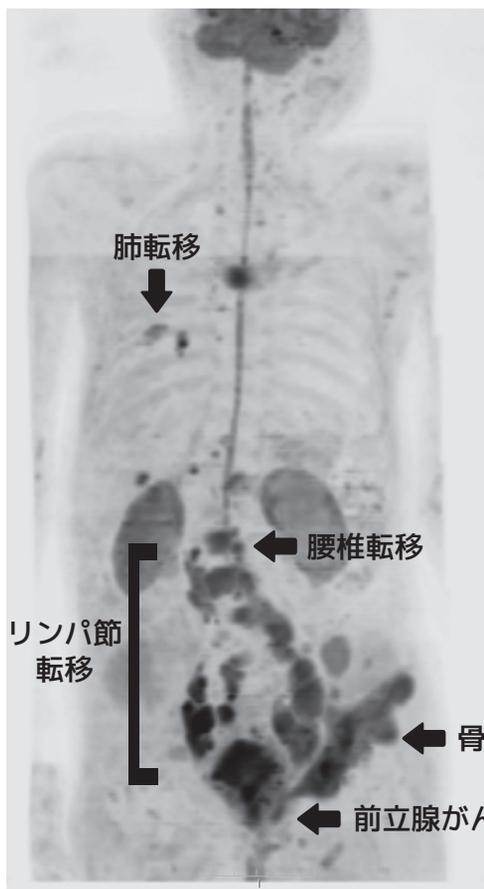
**治療効果を見るのに有用で
体に負担が少ない検査**

では、DWIBS検診でどのようながんが発見できるのでしょうか。

肺がん、乳がん、胃がん、大腸がん、胆管がん、膵臓がん、肝臓がん、子宮がん、前立腺がん、甲状腺がん、腎がん、悪

性リンパ腫、骨髄腫など、主ながんは全てと言えます。これらのがんは私がDWIBSで診断したことがあるがんです。ただし、

全身がん検診（DWIBS 検診） 前立腺がんの症例



内視鏡で簡単に切除できるような早期の胃がんや大腸がんは見つからないことがあります。そのため、通常の胃がん検診や大腸がん検診などのがん検診は受ける必要があります。通常のがん検診を受けた上で全身をチェックするには非常に有用な検査法です。

私が最初にDWIBSを用いた患者さんは悪性リンパ腫の患者さんでした。お腹の奥にある多数の腫大リンパ節がはつきり描出されていました。しかも化学療法を行った後にもう一度検査すると腫大したリンパ節は全て消失していました。つまり、治療効果を確認することも有用であることが分かりました。

りました。

さらに、DWIBS検査の良いところは、患者さんの体への負担が極めて少ないことです。ただ寝ているだけです。絶食は不要で、検査時呼吸を止める必要はなく、造影剤を使うこともありません。前述のように被曝することもありません。一つ制限があるのは、ペースメーカーや金属が体の中にあると検査を受けることができないことです。高齢者にはとても優しい検査です。

一度、DWIBS検診を受けてみてはいかがでしょう。詳しくは、日野病院のホームページをご覧ください。